

# キャンプファイヤー

団体のメンバーが集まって輪になり、その中心に井桁を組んで、焚き火をする。火が燃えている間、集まった全員で歌を歌ったり、踊ったり、さまざまな過ごし方ができる。キャンプに対する願いを明らかにし、集団生活の感動を深める場とすることができる。

場 所	スクールキャンプ場：大ファイヤー場・小ファイヤー場 レクリエーションキャンプ場：ファイヤー場 トレーニングキャンプ場：ファイヤー場
対 象 学 年	小学生以上
所 要 時 間	2時間 ※準備・後片付けの時間は除く
実施可能期間	5～10月
料 金	井げた：5段組7,030円 6段組8,400円 7段組10,540円 (芯材4束) (芯材4束) (芯材4束)
所で準備する物	トーチ関係・・・トーチ用棒、針金 井げた関係・・・井げた材、まき、灯油、耐火グローブ、バケツ、ライター 儀式関係・・・衣装セット(火の神、火の女神)、音響設備 巻物「迎え火の詞」「送り火の詞」 音楽「遠き山に日は落ちて」「燃えろよ燃えろ」 「今日の日はさようなら」 ゲーム関係・・・音楽「ジェンカ」「アブラハムの子」「怪僧ラスプーチン」 「オクラホマミクサー」「野原で手をたたけ」等
団 体 準 備 物	【団体】進行プラン、懐中電灯 【個人】トーチ用古タオル(2人につき1本)出し物やゲーム等に必要なもの
実 施 要 領	【当日までに】…プログラムの計画 【当 日】 ①活動の準備 ・スタッフ打合せ ・トーチ作り(約1時間) ・井げた組み(約30分間) ・ファイヤー用具準備 ・リハーサル(約30分間)・・・第1・3部の役割確認と練習、第2部の持ち方の確認 ・プレファイヤー(約20分間)・・・トーチの持ち方及び諸注意、歌の練習(P58参照) ②キャンプファイヤー ・(例)第1部(儀式の火) 第2部(親睦の火) 第3部(儀式の火) ③後片付け ・ファイヤー終了直後…ファイヤー用具の後片付けおよび返却、井げたの消火 ・翌朝…井げたの後片付け

## 【モデルプラン ～第1部・儀式「迎え火」～】

### プラン① 『誓いの言葉』あり

入場（無言無灯火） 「遠き山に日は落ちて」 火の神、火の女神入場 火の神 『迎え火の詞』  火の守 『誓いの言葉』  点火（女神と火の守）  「燃えろよ燃えろ」	シングルサークル。80人以上はダブルサークル。 1番を歌い2番からハミング。 ハミングを合図に入場して、火の女神が先導して円内を一周する。 火の女神は、火の神を照らす。詞が終わり次第、火の女神は火の神の前に進み出て片膝をついて火を渡す。 片膝をついて火の神から火をもらい、立ち上がってふり返り、トーチを高くかざして、誓いの言葉を述べる。 （一人ずつ順番に行う。） 火の女神は片膝をついて火の神から火を受け取り、火の神の「点火」の合図で、火の守とともに中央の井げたに火をつける。 歌を歌う。
---	---

### プラン② 『誓いの言葉』なし

入場（無言無灯火） 「遠き山に日は落ちて」 火の神、火の女神入場 火の神 『迎え火の詞』  点火（女神と火の守）  「燃えろよ燃えろ」	シングルサークル。80人以上はダブルサークル。 1番を歌い2番からハミング。 ハミングを合図に入場して、火の女神が先導して円内を一周する。 火の女神は、火の神を照らす。 詞が終わり次第、火の女神は火の神の前に進み出て片膝をついて火を渡す。火の神は火の守に分火する。 火の守は片膝をついて火の神から火をもらう。火の女神は片膝をついて火の神から火を受け取り、火の神の「点火」の合図で、火の守とともに中央の井げたに火をつける。 歌を歌う。
--	--

## 【モデルプラン ～第3部・儀式「送り火」～】

### プラン① 誓いの言葉なし

採火 火の神 『送り火の詞』  分火 トーチサービス  退場	火の女神が真ん中の井げたから火を採る。 火の女神は火の神を照らす。 詞が終わり次第、火の女神は片膝をついて火の神に火を渡す。 火の守は、片膝をついて火の神から火をもらう。火の女神は片膝をついて火の神から火を受け取る。 火の女神は火の守とともに、参加者全員に火を分ける。 火の女神、火の神、参加者の順番で退場する。 BGM「今日の日はさようなら」 つどいの広場でトーチを消火する。
---	--

### プラン② 誓いの言葉あり

採火 火の神 『送り火の詞』  火の守 『誓いの言葉』  分火 トーチサービス 退場	火の女神が真ん中の井げたから火を採る。 火の女神は火の神を照らす。 詞が終わり次第、火の女神は火の神の前に進み出て、片膝をついて火を渡す。 火の守は、片膝をついて火の神から火をもらい、立ち上がってトーチを高くかざして、誓いの言葉を述べる。（一人ずつ順番に行う。） 火の女神は、片膝をついて火の神から火を受け取る。 火の女神は火の守とともに、参加者全員に火を分ける。 火の女神、火の神、参加者の順番で退場する。 BGM「今日の日はさようなら」 つどいの広場でトーチを消火する。
--	---

## 【モデルプラン ～第2部・親睦～】

### プラン① 小学生低学年向き

緊張緩和（アイスブレイク）	ジャンケンチャンピオン
サークルブレイク	集合ゲーム      ライオンとカバ
	氷鬼ごっこ      ナンバーコール
サークルにもどす	ふたごのオオカミ大冒険（ダンス）
	猛獣狩り
クライマックス	ジャンケン列車      キャッチ
	アブラハムの子      1分間ゲーム

### プラン② 小学生高学年・中学生向き

緊張緩和（アイスブレイク）	燃えろ燃えろ赤い火      キャッチ
	ライオンとカバ
サークルブレイク	集合ゲーム      ウルトラじゃんけん      タコとタイ
	おんぶジャンケン      木こりとリス      知恵の輪
サークルにもどす	ジェンカ（ダンス）      野原で手をたたけ
クライマックス	進化ゲーム      ホップステップジャンプ
	1分間ゲーム

### プラン③ 青年向き

緊張緩和（アイスブレイク）	燃えろ燃えろ赤い火      ホップステップジャンプ
	集合ゲーム
サークルブレイク	タコとタイ      おんぶジャンケン      ライオンとカバ
	うんちっち体操      ダンスリトルバード（ダンス）
サークルにもどす	進化ゲーム      マイムマイム
クライマックス	セブンジャンプ      1分間ゲーム

### 【第2部の構成のポイント】

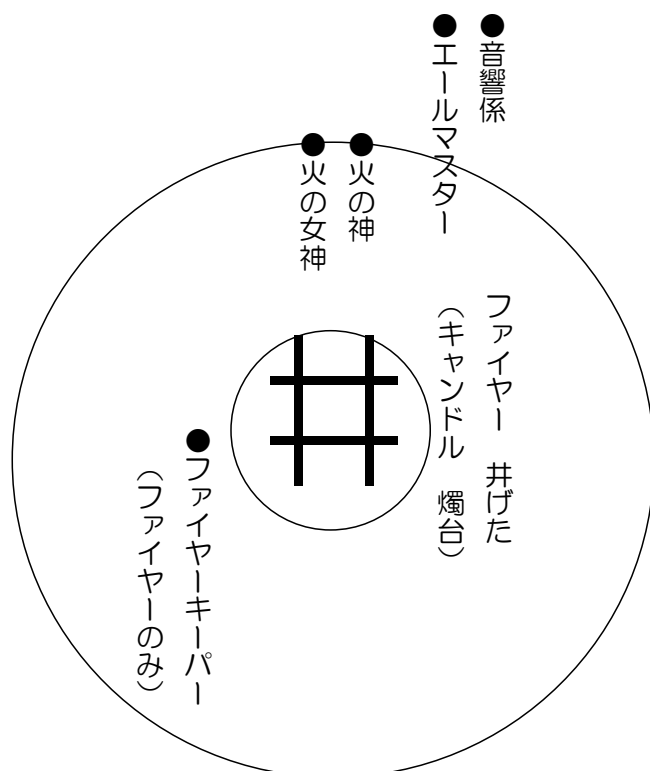
- ①参加者はどれくらいか。（年齢構成はどうなのか）
- ②会場の大きさはどれくらいか。
- ③準備物は整っているか。
- ④全体のゲーム・ストーリーはできているか。

ゲーム・ストーリーを組み立てる場合、起・承・転・結を頭に入れて雰囲気徐徐に高めて、ドーンと盛り上げてクライマックスにもっていきましょう。ストーリーができているからといって、無理にやらないほうがいいでしょう。

決して、飽きるほど引張らないことです。「もっとやりたい」「やってほしい」「続けてほしい」そんな中で終わることができれば最高です。



## 【ファイヤー（キャンドルサービス）隊形】



「火の神」の立ち位置・・・真北が原則

- ・旅人の指針となる移動しない北極星
- ・変わることのない指導者の象徴

シングルサークル

- ・人の和の象徴
- ・全ての人動きやすい形
- ・80名以上の場合はダブルサークルがよい。

## 【ファイヤー（キャンドルサービス）スタッフと役割】

- 火の神（1名）
  - ・団体長が「火の神」となるのが望ましい。
  - ・点火指示、迎え火の詞、送り火の詞
- 火の女神（1名）
  - ・火の神の先導、点火と分火
- 火の守（4名）
  - ・誓いの言葉
  - ・点火
- エールマスター（1名）
  - ・司会進行
- ファイヤーキーパー（2名）  
（ファイヤーのみ）
  - ・火の維持（ファイヤーのみ）
  - ・プログラムに合わせて火を上手に焚く。  
（ファイヤーのみ）
  - ・かげの演出者
- 音響係（1名）
  - ・曲の放送
  - ・マイクの準備
- 衣装係（1名）
  - ・火の神、火の女神の着付け
  - ・火の女神の誘導
- 誘導係（1名）
  - ・プレファイヤーの実施（P58参照）
  - ・参加者入場の誘導

## 【火の神の詞（例）】

### 迎え火の詞

標高1625mの経ヶ岳のふところにいだかれています、奥越高原青少年自然の家に夜のとぼりが、今静かにおろされようとしている。われは〇〇〇〇〇（団体名）の諸君のためにつかわされた火の神である。ここ青少年自然の家できびしい中にも、楽しく充実した活動を送っているであろう諸君よ！ しばらくの間、耳を傾けるがよい。

暗いしじまの中に、空いっぱい広がる星をながめ、谷川のせせらぎを耳にしながら、遠い昔、赤く燃える火を囲みながら、みな先祖は何を語ったろうか。今この闇の中で、神のもつ火を静かに見つめてもらいたい。火は、人間だけに与えられた貴重な宝物である。今日の文明も火によって築かれた。

第一に、あかあかと燃えるこの火は、みにくいものを一切焼き尽くす情熱の源である。

第二に、暖かさと明るさを与えてくれるこの火は、愛情の源である。

第三に、闇夜の中の一灯として、道しるべの役を果たす。

この教えから、苦しみにうち勝つ情熱をもち、人を愛し、自己をみがき、豊かな未来を生き抜くたくましい人となってほしい。

若い諸君の幸せを願い、情熱、闘志、協力と団結、友愛の心をこめて、皆に光を与える。

### 送り火の詞

今宵あかあかと燃え続けた火を囲みながら、歌や踊りの中に若い情熱をたぎらせ楽しく過ごしたこの時間も、今まさに終わろうとしている。たとえ、この火は消えても、お互いの心の中に燃える火はいつまでも消えることなく、皆のこれからの生活に励ましと勇気を与えてくれるであろう。

この火をしっかりと見つめよ！！ そして、心にしっかりとときざめ。

## 【火の守 誓いの言葉（例）】

**規律の火** 私たちは、きまりを守って生活することを誓います。

**協力の火** 私たちは、力を合わせてがんばることを誓います。

**奉仕の火** 私たちは、喜びと感謝の気持ちで働くことを誓います。

**友愛の火** 私たちは、友だちをたくさんつくることを誓います。

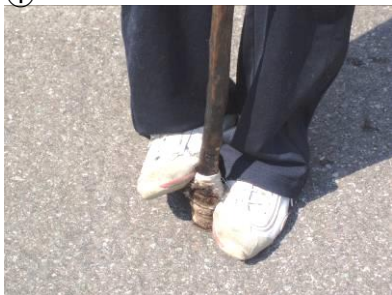
## 【トーチの作り方】

要望があれば、当所のスタッフがオリエンテーション（説明）をします。

- (1) トーチ棒を選び、燃えカスや針金を取り外す。(写真①)
- (2) 持参のタオルを縦に半分に切り、さらに半分に折る。(写真②)
- (3) トーチ棒の上にかぶせてから(写真③)、15cmくらい巻きながら下ろしてくる。(写真④)
- (4) タオルの最後の部分を針金でしばる。(写真⑤)
- (5) 針金の両端をねじった後、タオルのすそに入れこむ。(写真⑥)
- (6) 2人組で、タオルを巻いた部分が動かないかをチェックする。(写真⑦)

※タオルが動いたり、すそが垂れていたりすると、使用時に大変危険なので注意する。

①



②



③



④



⑤



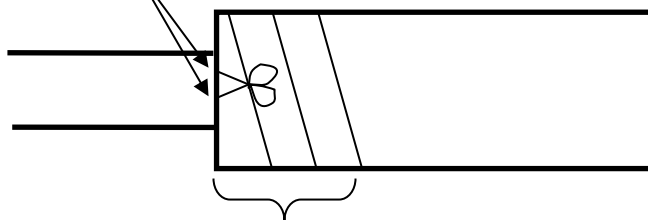
⑥



⑦



★針金の端は危なくないようにタオルの下に折り込む



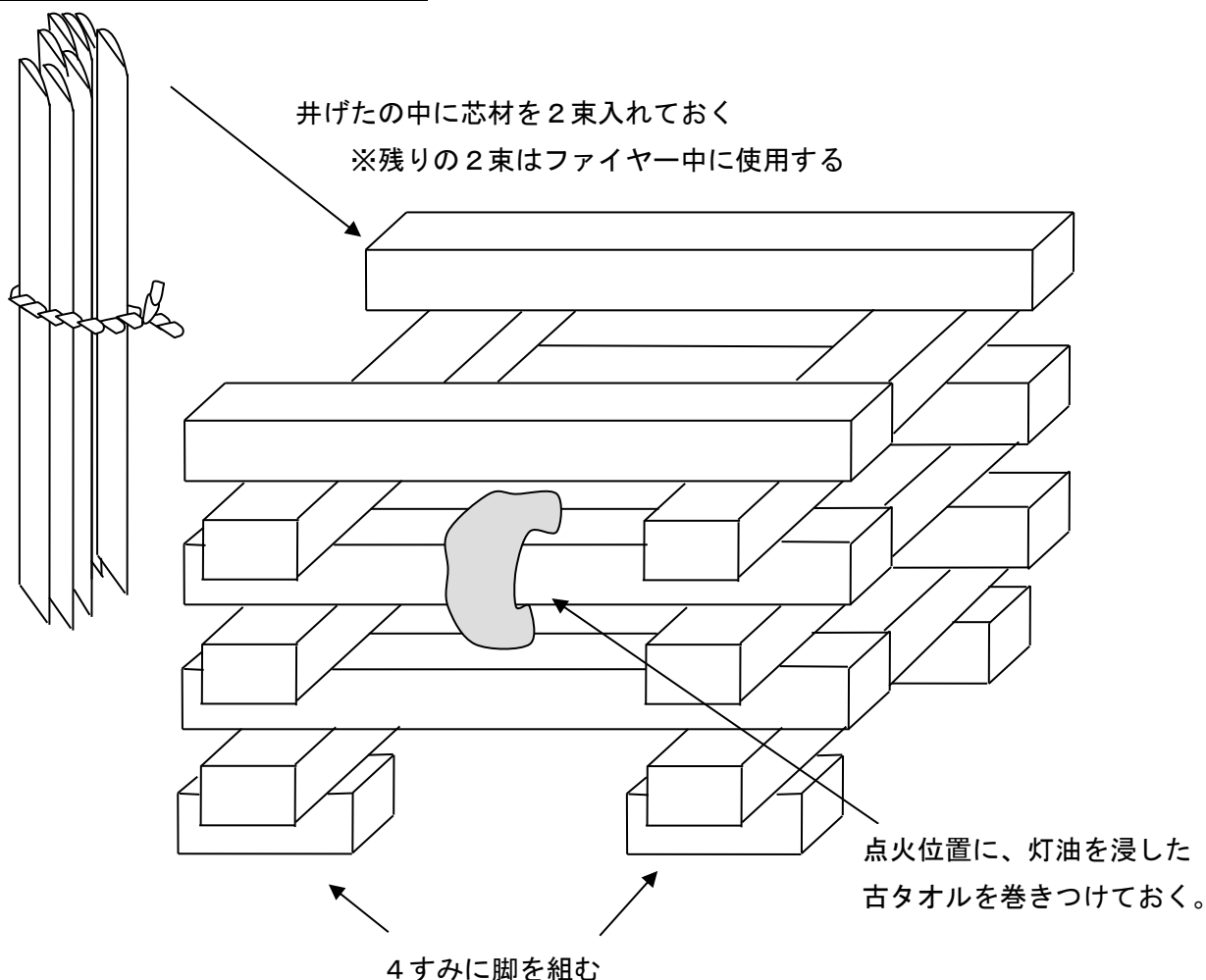
★タオルの下1/3くらいを針金できつくしばる

## 【井げたの組み方】

要望があれば、当所のスタッフがオリエンテーション（説明）をします。

- (1) 井げたを組む。  
※4つのすみに脚をセットしてから、井げたを組む。
- (2) 井げたの中に芯材を入れる。(井げた用の芯材2束程度)  
※芯材は、4束使用する。
- (3) 点火場所にタオルを巻きつけ、灯油をかけておく。
- (4) 井げた全体に灯油をかける。

## 参考資料 井げたの組み方



## 【リハーサルについて】

### (1) 第1・3部の役割確認及び練習

火の神	①入場	②迎え火の詞	③誓いの言葉	④送り火の詞
	⑤退場			
火の女神	①入場	②迎え火の詞	③点火	④採火
	⑤送り火の詞	⑥分火	⑦退場	
火の守	①誓いの言葉	②分火		
音響	①テープ・CDの確認	②マイクテスト		
衣装	①衣装の確認	②ライターの確認		

### (2) 第2部の持ち方の確認

## 【プレファイヤー（プレキャンドル）について】

### (1) ファイヤーの持ち方及び諸注意

- ①プログラムの流れの確認
- ②入退場の方法
- ③諸注意

- ・第1部と第3部はおごそかに、2部は楽しく。
- ・入場と退場は無言無灯火
- ・トーチは両手で持ち、斜め45度に傾けて持つ。

(ミニキャンドルは両手で持ち、分火の際は火をもらう人が傾ける) など

### (2) 第1・3部の歌練習